

令和3年7月9日

展示室使用団体各位

独立行政法人国立美術館  
国立新美術館 事業担当

#### 国立新美術館の施設使用について

国立新美術館では、昨年度より、十分な新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、展示室及び展示室に関連する施設の使用を一定の制限のもとで再開してまいりました。この間、団体各位におかれましては、感染症拡大防止対策へのご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」(公益財団法人日本博物館協会発出)の改定等を受け、国立新美術館の施設使用について見直しを行いましたので、お知らせいたします。

当館の施設使用の際には、展示室使用団体は、本資料の内容を十分に確認し、会員、業者等に周知を行い、対応を徹底してください。対応策について、事前に事業担当までご報告をお願いいたします。対応が不十分と判断した場合には、感染拡大の危険性を考慮し、使用を制限させていただく場合がありますので、ご理解、ご了承の程よろしくをお願いいたします。

また、展示室の使用許可の取り消しは、「国立新美術館展示室等及び備品貸付規則」に則り、当該使用日の1年6か月前までに申し出ることとしておりますが、令和3年度に限った特例として、新型コロナウイルスの影響で展示室の使用を中止する場合は、3か月前まで申し出をお受けいたします。この期限を過ぎてから申し出があった場合には、使用料を免除しないものといたします。(令和2年11月25日付通知のとおり)

なお、今後も政府や東京都の動向、感染状況をふまえ、臨時休館を行う可能性があります。臨時休館期間と会期が重なった場合には、その期間分の展示室使用料を還付(展示室に関連する施設は未使用分について還付)いたします。ただし、臨時休館によって生じるその他の費用につきましては、負担いたしかねますのでご了承ください。

国立新美術館 事業担当  
古澤、野尻  
TEL 03-6812-9908  
FAX 03-3405-2531  
e-mail : jigyo@nact.jp

(別紙)

新型コロナウイルス感染拡大防止対策時における当館の施設使用について  
(公募団体への対策のお願い)

国立新美術館 事業担当

**来館について**

- ・来館の際には、マスクの原則常時着用、咳エチケット、こまめな手洗い、手指の消毒にご協力ください。
- ・以下に該当する方は、来館を控えてください。また、このことを事前に会員、業者等関係者に十分に周知してください。
  - ・37.5度以上の発熱や咳、くしゃみ、鼻水などの風邪の症状がある方
  - ・体調がすぐれない方
  - ・過去2週間以内に発熱や風邪の症状等で受診や服薬等をした方
  - ・過去2週間以内に政府から入国制限入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問及び当該在住者との濃厚接触がある方
- ・入館開始時刻の9時30分前には、通用口付近での混雑が予想されます。密集を避けるため、来館者については必要最小限の人数とし、入館開始時刻に関係者の来館が集中しないよう、分散した来館をお願いいたします。なお、入館前の待機場所では一定の距離を開けて整列していただき、入館の際には検温を実施いたします。
- ・当館では公募展関係者を含む来館者全てに対し、サーモグラフィや非接触型体温計により、検温を行います。検温の結果、37.5℃以上の発熱が認められた方は、入館をお断りしますので、ご了承ください。また、このことを事前に会員、搬入・陳列業者(ドライバー含む)、来場予定者等に、ホームページや招待状などで十分に周知してください。なお、検温実施箇所は、正面入口、乃木坂駅連絡通路、障害者用駐車場、通用口の4箇所です。
- ・来館する団体の関係者については、感染者が発生した場合に経路が確認できるよう、緊急連絡先や来館日時を把握してください。
- ・来館者数を抑えるため、極力、個人での搬入は避けてください。やむを得ず個人搬入となる場合は、トラックバースでの積み下ろし時間や接触人数を最小限とするように搬入方法や受付方法を工夫してください。
- ・館内でのマスク常時着用について、マスクを着用されていないお客様には、正面入口、乃木坂駅連絡通路にて検温時にマスクを提供します。公募展関係者、業者におかれましては、各自でマスク等を準備してください。マスクを着用されていない方の入館はお断りいたします。
- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のダウンロードを推奨しております。館内

での感染拡大防止対策の一つとして、ご協力ください。

- ・当館をご利用中に団体内で体調不良者が発生した場合には、「PCR 検査を受け、陽性の結果が出た」時点ではなく、「濃厚接触者に指定された」、「発熱の症状が出た」など、感染の可能性が生じた時点で、情報提供をお願いします。団体内関係者、委託業者等の当館の建物に出入りする方だけではなく、その同居家族、同僚等に感染の可能性が生じた場合にも、情報提供をお願いします。

#### バックヤード施設の使用について

- ・各団体の当館施設使用時の活動について、いわゆる3密状態を始めとする感染症拡大の危険性がないか、改めて確認し、対応を検討してください。使用方法を見直す場合には、使用施設、備品の変更や追加申請について合わせてご検討ください。
- ・いわゆる3密状態を防止するため、各施設について、以下の通り1室あたりの入室人数の上限を定めます。上限を超えないよう、一度の入室人数を管理してください。なお、人数の上限については状況により変更になる場合がありますので、公表はお控えください。

施設名称	入室可能人数
展示室	250人
地下1階作品収納室	11人
地上階作品収納室（3Bを除く）	20人
地上階作品収納室（3B）	13人
作品整理室	44人
審査室	18人
審査室E	81人
審査ラウンジ	6人
写場	18人
主催者控室（中2階・中3階・4階）	9人
主催者控室（1階・2階）	7人

- ・各施設内では、入室者同士の距離（最低1m、できるだけ2mを目安に）を十分にとってください。
- ・各施設の出入口の扉はできる限り開放状態としてください。開放できない場合は、その理由・時間帯を事前に報告してください。
- ・昼食の際は、時間を分散させるなど、一度に多人数が密集しないようにしてください。また、食事時の会話は控え、対面での着席を避ける等、密接状態にならないようにしてください。当館1階カフェ コキーク、地下1階カフェテリア カレも適宜ご利用ください。
- ・当館からの貸し出し備品を含む使用物品は、各団体で消毒を実施してください。特に台車やPHSなど、複数人で使用する備品についてはこまめな消毒をお願いします。また、共有

- のユニフォームなどがある場合は、洗濯をまめにしてください。
- ・主催者控室、審査ラウンジにはアクリル板を設置していますが、その他の施設については用意がありませんので、必要に応じて各団体でご準備ください。
  - ・備品のアクリル板は、中性の界面活性剤を含む製品で消毒をお願いします。
  - ・エレベーターを使用する際は、掲出の人数制限を守り、会話は控えてください。展示室から主催者控室への移動は可能な限り階段をご利用ください。
  - ・トイレの使用方法について、蓋を閉めての流水や、ハンドドライヤーの利用停止にご協力ください。
  - ・喫煙所では特に密接・密集状態にならないように注意してください。
  - ・その他、館内に掲示されている注意事項にご協力ください。

### 展示室について

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策に関するご来館のお客様へのお願いについて、別紙の当館のご案内を参照し、各団体ホームページ、招待状などへの記載、展示室入口への掲出等による周知にご協力ください。また、展覧会初日や団体でのご観覧など、鑑賞者が一時に集中しないよう、ご案内を工夫してください。
- ・密接状態を避けるため、展示室内では会話を控えていただくよう、定期的に見回りを行ったり、掲示物等により来館者に促してください。（1展示室あたり2枚まで、当館作成の掲示物を貸出しすることも可能です。）
- ・展示室の入口付近や休憩場所、展示区画が狭い場所等、会場内で部分的に密集状態が発生しないようにしてください。また、動線については密集状態を避けるように工夫してください。可能であれば一方通行で鑑賞できるような動線となるようご検討ください。
- ・直接手で触れることができる展示物や閲覧物（台帳類）等は感染リスクが高いため展示しないことを原則とし、やむを得ない場合はスタッフが管理して消毒を徹底してください。
- ・受付カウンターは、アクリル板仕切り付きのものを使用してください。長机を使用する場合は極力、お客様との仕切りとなるようなもの（アクリル板やビニールカーテン等）を各団体でご準備ください。設置が難しい場合は、お客様との距離が十分とれるよう、足元に立ち位置の目印を付けるなど工夫してください。また、物品販売でも同様の対策をお願いいたします。
- ・パンフレット等の配布物は手渡しで配布せず据置き方式としてください。
- ・券売においては、最低1m（できるだけ2mを目安に）の間隔を空けた整列を促す等、人が密集しないように工夫をお願いします。
- ・図録の配布等については、郵送など、対面・接触を伴わずに対応できる方法も検討をお願いいたします。
- ・展示室内でギャラリートークや授賞式等のイベントを実施する際は必ず、「講演会・ギャラリートーク等の事業計画について」及び、当該イベントでの新型コロナウイルス感染症

対策の詳細を記載した資料をご提出ください。（書式は任意）また、展示室内でイベントを実施する際は、飛沫防止のため、マイクの使用をお願いいたします。

#### **その他**

- ・ 来館中に体調を崩された方は、公募展運営サポートセンターまでご連絡ください。
- ・ 館内で感染者が発生した場合には、保健所等専門機関の指示に従って、対応いたします。  
その場合、施設使用停止、消毒等を行う場合がございますので、ご了承ください。
- ・ 講堂・研修室の使用については、国立新美術館会計担当までお問い合わせください。

以上